

令和4年度 東北歴史博物館協議会議事録

日時 令和5年2月22日(水)
13:30~15:40

場所 東北歴史博物館 大会議室

出席者・委員(50音順)

	東北生活文化大学名誉教授	近江 恵美子
	多賀城市芸術文化協会会長	菊池 すみ子
	株式会社河北新報社取締役編集・論説・防災教育担当	今野 俊宏
	気仙沼市立大谷小学校校長	鈴木 久美
	多賀城市立城南小学校PTA会長	立川 靖子
(会長)	東北大学名誉教授	平川 新
(副会長)	塩竈市立玉川中学校校長	堀内 恵理子
	東北大学大学院文学研究科教授	柳原 敏昭

次 第

1 開会

2 挨拶

宮城県教育庁文化財課技術副参事兼総括技術補佐

吉 野 武

3 委員及び事務局職員紹介

4 議事

(1) 令和4年度事業報告について

(2) 令和5年度事業計画について

(3) 東北歴史博物館中長期目標に係る令和4年度及び後期5ヶ年自己評価について

(4) 第2期東北歴史博物館中長期目標について

5 その他

6 閉会

(配付資料)

1 会議次第

2 東北歴史博物館協議会委員名簿

3 席次表

4 歴史博物館協議会条例

5 資料1 「令和4年度事業報告」

6 資料2 「令和5年度事業計画」

7 資料3 「東北歴史博物館中長期目標令和4年度自己評価(令和4年12月末現在)」

8 資料4 「東北歴史博物館中長期目標後期(平成30年度~令和4年度)自己評価」

9 資料5 「第2期東北歴史博物館中長期目標前期(令和5年度~令和9年度)(案)」

次第1~3まで記載省略

議事概要

<p>議長 総括次長 議長</p>	<p>この協議会は公開でございますが、傍聴人はおりますか。</p> <p>おりません。</p> <p>では、早速議事に入りたいと思います。 議事（１）の「令和４年度事業報告」について、事務局からお願いします。</p>
<p>副館長</p>	<p>(説明の概要) 【令和４年度事業報告】 1 企画展示事業 (1) 常設展示 ・総合展示は、総合展示室で旧石器時代から近現代までの東北地方の歴史を展示。 ・テーマ展示は、３つの展示室で合計１４テーマの通年展示を実施。 (2) 特別展示 【知の大冒険 一東洋文庫 名品の煌めき一】展 令和４年４月２３日から６月２６日までの５６日間開催。東洋文庫は「日本最大・最古の東洋学研究図書館」であり、蔵書約１００万冊の中から選りすぐりの名品を紹介する、全国初の大規模巡回展で、当館がその最初の会場となった。 記念講演会２回、ワークショップ６回、展示ナビ解説１０回を行った。観覧者数は９，７６５人。 【欲望の昭和～戦後日本と若者たち～】展 令和４年７月１６日から９月１１日までの５０日間開催。戦後昭和の歴史を「消費」と「くらしの豊かさとは何か」をキーワードに、当時の歌謡曲レコードやラジカセ、カセットテープ、人気テレビ番組関係資料約５００点を展示しました。観覧者数は１１，４９５人。 【みちのくのサムライたち一東北武士の系譜一】展 令和４年１０月１日から１１月２７日までの５０日間開催。平安時代における武士の誕生から近世大名まで、武士を通して東北の歴史を振り返る機会となり、日本刀の誕生と変遷、それに関わった陸奥国の刀工についてスポットを当て、今回は甲冑や刀など約９５点を展示。関連行事では、「刀剣に親しむワークショップ」を２回実施。観覧者数６，４４３人。 【キングダム展 一信一】展（現在開催中） 令和５年１月１４日から３月１２日までの５０日間開催予定。紀元前の中国を舞台に中華を統一した始皇帝と天下の大將軍を目指す少年の活躍と成長を描く感動の名場面を巨大グラフィックで再構成した原画展。関連行事では、来場者に対し、毎週土曜日「山の民サタデー」と称しお面を、土曜日以外には「キャラクターしおり」を配布 【パネル展】 「令和３年度宮城の発掘調査」、「海図で見る ～東北の港の昔と今～」の２回のパネル展をエントランスホールで開催。 2 教育普及事業(令和４年１２月末現在) (1) 施設運営 ・子ども歴史館 利用児童数は１２，５７９人。前年度との差が１万人程減少(R3 ジュラシック大恐竜展来館者との差が影響) ・図書情報室 利用者数は１，５０２人。 ・今野家住宅 利用者数は１６，５４３人。 (2) 催事事業 ・館長講座（８回）、博物館講座（２１回）、体験教室（８回）、多賀城跡巡り（７回） ※雨天により１回中止、体験イベント（春秋冬計３回）を実施。</p>

(3) その他の教育普及事業

- ・ボランティア活動は、今野家住宅の維持管理や体験イベントの運営補助など、コロナ禍でも実施可能な活動を行った。ボランティア研修は新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、本年度は実施せず、活動説明会と特別展の内覧会のみ実施。
- ・学校教育との連携では、総合的な学習の時間における学びの場として児童生徒を受け入れ、令和4年度に改定された高等学校学習指導要領の「総合的な探求の時間」に対応し、高校生向けの講義について受け入れ体制を整えた。中学生以上のキャリア教育受入れ1校実施。校外学習で来館した児童・生徒に講義を実施、うち1校は新たな試みとしてオンラインで実施できた。博物館実習を9の大学から14人を受け入れ。博学連携大学院について平成8年から東北大学と締結した連携協定に基づき、連携大学院方式で学生の教育及び研究の指導に当たっており、今年度は学生1名について大学院教育の指導実施。
- ・地域連携としては、市町村の社会教育の一環として、講座や講演の講師派遣依頼、地域に伝わる民話を語る団体を受け入れ、民話を聞く会を実施。

3 調査研究事業

考古、民俗、歴史、美術工芸、建造物、保存科学の6分野において、宮城県、東北地方を中心に調査研究を実施。これらの調査研究の成果については、研究紀要や定期的に開催する講座などで公開。

4 資料管理事業

(1) 資料の収集・利用

実物資料の購入はなし。資料寄贈は5件18点。図書の登録や利用は記載のとおり。

(2) 保存環境・保存処理等

収蔵庫、展示室の環境確保や、遺跡等の出土資料の保存処理などを実施。そのほか、東北大学及び筑波大学からの調査依頼に対して調査協力を実施。

5 東日本大震災対応

被災文化財の保全活動

県内の被災文化財に対し県文化財課等と連携・協働しながら対応。本年度は震災により水損し、一時保管を続けてきた、美術工芸史料1点の返還対応。

6 新型コロナウイルス感染症への対応について

(1) 本県においても継続的に陽性者が確認されており、一時収束の兆しも見えましたが、変異株の出現に伴い、陽性者高止まりの傾向も継続。直近では、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時感染も懸念され、医療機関を圧迫する事態に陥っているが、本館の企画展、体験教室などにイベントの中止はありませんでした。春・夏・秋の3回の特別展を無事に開催できた。

(2) 県対策本部や日本博物館協会の策定したガイドラインに基づき、マスク着用や検温の徹底、展示配置工夫による密にならない距離の確保など、適切な感染防止対策を講じて開館している。今後とも感染状況に応じた対策を講じていく。

7 その他

(1) 予算については記載のとおり

(2) 施設設備の改修についても記載のとおり

(3) 入館者統計

12月末時点の入館者数は75,713人。前年同時期比7万1千101人減
なお、入館者数の詳細につきましては、12ページに記載。

(4) 友の会

12月末時点の会員数及び会員活動状況については記載のとおり

令和4年度特別展観覧者アンケート概要

(1) アンケートの回収率（アンケートは春・夏・秋の特別展で実施）

特別展観覧者合計27,703人に対し、回収数611枚、回収率2.2%

(2) 来館者の属性

①「知の大冒険」では女性の比率が高く、他の二つの特別展は男性の割合が高くなっているが、トータルでは男女比はほぼ同数。

	<p>②年代別では、40から59歳の割合が52.0%、次いで20から39歳が24.1%となっている。</p> <p>③居住地別では、仙台市から来館者が最も多く、59.6%、次いで仙台市以外の県内市町村で27.5%となる。</p> <p>(3) アンケートでの主な意見</p> <p>肯定的な意見として、「非常に貴重な資料を間近で見ることができ興味深かった」欲望の昭和展では「昭和を振り返ることができてとても懐かしい気持ちになった」みちのくのサムライたち展では「国宝や重要文化財をたくさん拝見でき、とても有意義な時間を過ごすことができた」といったご意見をいただいた。</p> <p>一方で否定的な意見として、知の大冒険では「展示品の価値を理解するためにも解説文をもっと詳しくしてほしい」欲望の昭和展では「観覧者のしゃべり声がうるさく、展示に集中できなかった」また「展示品の撮影禁止が残念だった」これらの御意見を踏まえ、今後もよりよい展示に努めていきたい。</p>
<p>議長 立川委員</p>	<p>ただいまの事業報告につきまして、何かご発言ございますでしょうか。</p> <p>今年度もたくさん事業、特別展などを実施し、活躍していただいているなということがわかりました。キングダム展がすごい来客者数で驚いているところで、今のところ、皆さんの求めているものと合って、上手くいったのかなと思っており、良かったなと思っています。</p> <p>私もいろんな博物館や美術館に行くことがよくありますが、いつも、モヤモヤすることがあります。アンケートの否定的な意見のところにもある、展示の説明書きについてですが、もう少し詳しく書かれていると良いと、どこに行っても常々思うことです。</p> <p>そこで一つ思いついたのが、入口付近にあるプロローグとかそういうところで、必ず人はゴチャついてしまいます。人気なものであればなお、それがもう1ヶ所にあると良いかなという風に感じるときがあります。</p> <p>車椅子で来た人たちは見たくても、きっと見られないだろうなと思いつつ、あれぐらいゴチャっとしてしまうと、人気のある展示物であればあるほど、そういうのがあるかなと思います。小さなことですが、「あちらにも同じものがありますからどうぞ」といったものがあると、良いかなと感じましたので、言わせていただきました。</p>
<p>議長</p>	<p>確かに殺到すると混み合って、そこで渋滞がまず最初発生しているという状態に。今のご意見についてはどうですか。</p>
<p>副館長兼 企画部長</p>	<p>貴重なご意見どうもありがとうございます。</p> <p>今準備しております、来年度、春の大きな展示がございまして、混雑が相当予想されると思います。ポスターにもありますが彫刻物など大きなものになりますので、このような場合には、今、立川委員にご提案いただきましたように、複数の同じものを作るのは難しくはないので、いろんな角度から見られるように同じパネルを設置するだけで、問題が解消できると思います。是非そのような考えを取り入れさせていただきます。</p>
<p>議長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>柳原委員</p>	<p>博学連携大学院となっているのですが、この表記でよろしかったでしょうか。</p>
<p>副館長兼 企画部長</p>	<p>これは「連携大学院」ですね。</p>

柳原委員	<p>今年度は「知の大冒険」と「欲望の昭和」と「みちのくのサムライたち」を見学させていただくことができました。</p> <p>「知の大冒険」は、宮城県と交友関係があったというところに、光を当てていただきよかったです。もちろん展示も素晴らしく、大変よかったですと思います。</p> <p>「欲望の昭和」は、アンケートの否定的意見で「観覧者のしゃべり声がうるさかった」とありましたが、みんな懐かしいからついつい話してしまうというか。これはもうプラスにとってもいいぐらいではないでしょうか。</p> <p>「みちのくのサムライたち」は私の専門に一番近いところで、名品がたくさんあり、有益だったんですけども、展示の中心は刀剣とか甲冑でしたが、古文書の資料もたくさんあり、翻刻とか読み下しがほとんどなかったのではないかと思います。</p> <p>基本的事項の説明で、例えば刀剣であれば「太刀」と「刀」の違いが、説明になかったり、古文書の形態についても、解説文で説明はされているが、その用語が普通の方にはわからないのではないかと思います。</p> <p>「折紙」、「竪紙」、「切紙」という用語が使われていますが、その説明がなかった、或いは「花押」とか「袖判」とかの説明がなかったので、その辺をぜひ工夫していただければと思います。</p> <p>観覧者数を見ますと、「みちのくのサムライたち」は、刀剣に関心も集まっていることで、もうちょっと人が入るかなと思っていましたが、難しいのでしょうかね。いかに人に入っていたかだけを私も考えたいと思います。</p>
議 長	<p>いろいろ展示の、特に解説の仕方に工夫をしていただきたいというご意見ですが、いかがでしょうか。</p>
副館長兼 企画部長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>お客様からもそういった声は寄せられておりました。</p> <p>どの程度どこまで解説というのを詳しく述べたらいいのか、試行錯誤している状態です。</p> <p>博物館ですから資料そのものをまずしっかりと見ていただく事がまず第1にあり、それに対しては、解説・解釈ですが、いろんな解釈の仕方もあったりするので、館としての方針を定めるなど難しい点があります。</p> <p>これからは、よりたくさんの方々に、また幅広い年齢層の方に見ていただけるよう考える時には、どうやってわかりやすく、興味をもってもらえるような、解説の文章を作っていくかというのが、今後の学芸員のある意味力量かもしれません。</p> <p>たくさんの方々に幅広く情報発信ができるような、解説の書き方、必要な情報は何か、逆にいらぬ情報は何か、検討しながら進めていきたいと思っています。</p> <p>本日はご意見どうもありがとうございます。</p>
議 長	<p>解説がきちんとしているところと、表題が書いてあるだけ、字が小さいとかものすごく不親切な博物館があります。</p> <p>逆にいっぱい書いてあるというようなことで、バランスよく展示されている博物館は、意外に少なく、展示を見た後にいろんな意味で欲求不満になります。</p> <p>今、お話があったように、バランスを取りながら、最低限の情報は必要でその内容がどう書いてあるか、というようなことを、簡単な文章で提示していただくと良いと思います。子供たちは本当にただ見るだけになっちゃうので、少しでも読んでもらえるような工夫を、是非お願いしたいと思っています。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
今野委員	<p>「キングダム展」ありがとうございました。</p> <p>開幕式の時は、開館1時間前から外に人が並んで親子連れもいてすごいなど。</p> <p>先日の一万人目の方は、沖縄からこれを見るためだけに来たという事で、集客力のある巡回展でございました。</p>

	<p>開幕の日に近くにいた大学生風の女性2人、中に入って最初に言ったのが「ここ初めて来たけど、ミニモリよりずっと広いよね」と。そういうサブカルとか、そういう世代の人がここに来る機会って、これまでなかったんだと身にしみて感じました。</p> <p>東北歴史博物館の成り立ちや、性格からすると「東洋文庫」とか「みちのくのサムライたち」では、まさにその存在意義を象徴するようなものだと思うんですけど。</p> <p>キングダム展に関しては、何がなくても来てもらう工夫はやっぱり必要なのかなって今回非常にそれを感じました。非常に難しい課題だと思いますが、その部分に関してこの「キングダム展」で改めて思ったところです。</p> <p>また、みなさんお話ししているとおり、展示物の説明はやはり一つの鍵だと私も感じました。去年の夏、福島郡山で「バンクシー展」に行ってきたんですけど、すべての展示物が英文の説明文だけで、見に来ている人もさっぱりわからない。解釈の仕方とかで分かれる部分、難しいのはあるんでしょうけど、そうじゃないところは、わかる説明が必要ですね。また、年配者になってくると、ちょっと暗くて字が小さいと全然読みないですね。ユーザー、来てくれる人の視線でやれる工夫・努力っていうのは必要だと思います。</p>
議長	はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
近江委員	特別展で、ここの館独自の展示会というのがありますでしょうか。共催ではないのです。
副館長兼企画部長	令和4年度に関しましては、例年より多い4本の展示をやらせていただいております。その中で、2番目にあります「欲望の昭和」展は、当館の歴史分野の学芸員が中心となり資料展示をして開催しております。また、「みちのくのサムライたち」展も同様に当館の中近世担当の学芸員が中心になり、美術工芸の学芸員と協力し企画立案しております。この2つの展示が今年度の当館独自の展示になります。
近江委員	<p>独自の開催ってなかなか難しいのですが、日頃の研究成果みたいなものがないとできないし、意欲的にやられていて、それはとても評価できることだなと思いました。</p> <p>「欲望の昭和」展は、個人的にも興味があったのですが、資料としては、レコードとかラジカセとか、「もの」を中心に考察するっていう雰囲気だったんですけど。精神的な面、若い人たちの心など含めたものに膨らませたら、もっと面白かったのにと思いました。「もの」にあまり依存しすぎているという印象がありました。</p> <p>それから「キングダム」展は、私は絶対人が入ると思っていたのですが、今のところ目標は書いてありますが、どのぐらい入っていますか。</p>
副館長	先週の日曜日、2月19日現在ですと、目標36,000人と申し上げましたが、先週1万人を突破したということで、2月19日の日曜日現在で11,309人です。
近江委員	<p>本来ですと漫画ですから博物館よりも美術館がやるようなもので、上野美術館で開催をした経緯もあり、ある意味冒険だったと思うのですが。</p> <p>集客という意味では、漫画は絶対人が入ると思いましたので、私が提案したと思うのですが「漫画はいかがですか」と。予想よりは、入っていない印象ですが、とても面白かったですね。展示品が大きく、作家さんの熱意や情熱がすごく感じられて、展示の中に作家さんの想いが全部込められているっていうのがすごく伝わって参りました。作家さんの情熱みたいなものが、人の心を動かすのだなと思いました。</p> <p>この展覧会をよくこちらの博物館で開催されたなど、評価させていただきたいと思います。会場構成も驚きました。美術館でもああいう冒険的な展示はなかなかできないのですけれども、会場構成そのものも意欲的で斬新でしたし、とても充実した展覧会だったと感じました。開会式の時に来た時にも、外に人が並んでおりましたので、これは絶対当たるなど。最終でもう少し増えると思いますけれども、博物館としても企画として</p>

<p>議長</p>	<p>成功だなんていうふうに思いますし、若い方たちを博物館に取り込むという点で、今後とも検討いただければ、このキングダム展の成功に続くものができるのではないのかと思いました。</p> <p>今後も期待しております。「漫画どうですか」って声掛けした責任も感じており、今までにない集客ができたかなと思います。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>来る時に、車の中でラジオを聞いておりましたら、4月からの「みほとけ展」のCMが聞こえました。かなり早くから流しているなと思ったのですが、今のお話を聞くと最後の追込みで、キングダム展についてCMを流すと、さらに来るのかなと印象を受けました。他にいかがでしょうか。</p>
<p>堀内委員</p>	<p>今年度は「欲望の昭和」と「キングダム」を大変興味深く見させていただきました。</p> <p>「欲望の昭和」展は、やはり「もの」が懐かしいなということで見ている方々も、和気あいあいと見ている雰囲気印象的だったなと思っています。</p> <p>その中でも最後の方に、ビデオ映像で仙台港の昔の映像放映があったので、そこをずっと見ていました。こうやって仙台港ができたのだなど。非常に興味深く見させていただきました勉強になりました。</p> <p>最後の終わった時に、メッセージボードのようなところで、感想を書いてそこに貼っていくのが参加型の取り組みで、ただ見るだけでなく思いをそこにちょっと伝えるというような工夫が見られたと思ったところでした。</p> <p>また、「キングダム展」は映画も見ており、とても楽しみにしておりました。</p> <p>漫画の原画展は見たことがなく、母に話したところ、テレビやラジオの宣伝で、ちょっと興味を持ったようで、行きたいというので一緒に行きましたら、内容は知らなくても迫力に圧倒されながらも、最後まで楽しんで見ておりました。</p> <p>こんなに人が密集して入っている展示というのも、なかなかないと思うぐらい、年代層も若い方が全体的には多かったかと思うのですが、私ぐらいの年代とか、それよりはもう少し上の年代の方もいて、原画とそれに対して壁一面の迫力ある展示、空間とかもうまく利用されており、本当に目に焼きつくような形で、とても印象的な展示だったと思いました。</p> <p>私は社会の教員なので、子供たちが見たときに、中国の歴史にちょっと興味を持ったりと、その当時の日本はどういう状況だったのかなという、次の好奇心に繋がるものだと、いいなあと思いながら見ておりました。</p> <p>昨年、宮城県美術館にポンペイ展を見に行った時に、記念講演会が2回ぐらいあり、それを聞いてから観覧するものに参加したんですけども、そういう企画みたいなものがあったりすると、キングダムの時代を少し勉強して、何となく頭に理解してから観覧するのは、私みたいな人だと、興味あるなあと思いながら見ておりました。</p> <p>期間がちょっと短いので、本当に見逃す人も多く、教員でもちょっとなかなか近くでやっているのに、見に行けてないっていうような人もいますので、是非、アナウンスをしていただくと駆け込みで増えるのかなと思いました。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます、よろしいでしょうか。</p>
<p>柳原委員</p>	<p>先程の6ページの「博学連携大学院」ですが、これは博物館で使用する名称ですね。</p>
<p>館長</p>	<p>「連携大学院」だけだとイメージしにくいので、「博学連携大学院」とこのような名称にさせていただいております。</p>
<p>柳原委員</p>	<p>理解しました。我々もこのような言葉を使うようにします。</p>

議 長	では菊池委員お願いします。
菊池委員	<p>どの特別展もよかったと思います。</p> <p>低学年というか子供たち向けの展示が、今回なかったなと思いました。やはり夏休みを中心とした、子供向けの展示企画、去年まではそういう形でやっていたのかなと思うんですが、そのあたりも今後考えて欲しいと思います。</p> <p>やはり子供たちがここに通って欲しい、親子で「キングダム展」なども見に来る方もいて、そういう姿を見て、すごくこちらもうれしく思いましたので、ぜひ子供さん対象の企画を入れてもらえたらいいなと思います。</p> <p>教育普及事業の中で学校教育との連携、令和4年からの総合的な探求の時間ということで、今ではタブレットを皆さん子供達が持ってますから、オンラインでできるような形というのも、学校にアピールして、働きかけていったらいいなあと感じました。</p> <p>一番興味があったのが職場体験で、西山中学校の生徒さん3人、初めての試みかなと思ってましたが、今までもありましたか。生徒がどういうことを体験したのか教えていただければと思います。</p> <p>アンケートについて、いつも回収率が2.0%ですが、否定的な意見もすごく大事ななと思います。</p> <p>アンケートの内容でも、体験できたり何かこう写真を撮ったりとか、その作品の前でそういうのを今年も求めているのかなと思いました。ニーズに応えられるような工夫をしていただければと思います。</p> <p>もっと皆さんにアンケートの答えを出してもらえるような工夫っていうか、アンケートの中で、いいものを大事にして欲しいなということを感じました。以上です。</p>
副館長兼 企画部長	<p>夏休みの展示というお話がありました。今年度はその辺を考えて、欲望の昭和展というのをやって家族で、ご歓談いただきながら、イメージとしては、お父さんやお母さんが自慢げに自分の子供の頃を、子供と会話しながら、子供が面白がって聞いておられました。お父さんやお母さんを盛り上げるようなイメージの展示を、今年度は作ったつもりでした。</p> <p>キングダム展は、お父さんが多いみたいですが、お子様を連れて来られる、そんな感じで家族連れの皆さんにご観覧いただいております。</p> <p>この後、また説明させていただきますが、令和5年度事業の中では、夏休みが子供さんの学校の勉強にも、ちょっと関係するような展示、そういった企画をしておりますので、令和5年度は8月に、子供たちが勉強のためになるような展示を考えております。</p> <p>あとはオンラインというお話もありました。当館でもいろいろ考えていますが、正直、試行錯誤という状態です。学校側が何を望んでいるのか。当館として何ができるのか。メカニカルな面も含めて、まだつかみきれていないというのが現状で、もう少し時間がかかるような感じはいたします。</p> <p>職場体験は、やはりコロナ禍というのが非常に大きく、以前は実施していたのですが、中断してしまったという感じがあります。中学校でも何校か受入れしてはりましたが、一時期に集中してしまうので、お断りしたことも過去にはありました。大体3日ぐらいの日程で、資料を見ていただいたり、博物館内の仕事を体験していただいたりして、結構楽しいんだなっていう感想を書いていただいたこともありましたが、お互いに実施しづらい感じがして、今年度は西山中さんの1校だけですが、これまでは沢山の学校さんに来ていただいております。</p> <p>大学生は実習というのがありますので、より専門的なことで1週間、学生さんにここまで来ていただいて、もっと詳しく、実際に資料を触っていただいたりする実習などをやらせていただいております。高校生の実習はないですね。</p> <p>アンケートは情報サービス班で担当しておりますので、そちらから回答します。</p>

情報サービス班長	<p>アンケートについてのご意見ありがとうございました。</p> <p>コロナ対策ということもございまして、以前は紙でアンケートを集約させていただいておりました。それを現在は、QRコードを活用し県の電子申請システムを利用したアンケートでお答えいただいている状況でございます。</p> <p>従前からの紙ベースでのアンケートに答える方が減っているかもしれません。電子申請が慣れないので、まだ安定していないのですが、これからは端末機の手操作にも慣れて進んでくれば、アンケート回収率も上がってくるのではないかと考えています。</p> <p>また、アンケートのQRコード付きの紙を配って、帰宅後でも回答できるような形で実施したり、特別展出口などにも、読み取りQRコードを作って設置しております。</p> <p>また、今後は紙と併用も検討させていただき、回収率が上がり、沢山のご意見をいただき、肯定的な意見だけでなく、否定的な意見も含めて館全体として情報共有し、今後の企画運営に活かしてまいります。</p>
菊池委員	<p>コロナ禍だったんですね、了解いたしました。</p> <p>先ほどお話がありました、学校連携でオンラインで金成小中学校だったのでしょうか、この時の内容がどういう内容だったのでしょうか。子供たちから意見を聞かれたりしたのでしょうか。双方向のやりとりができたのか、その辺をお聞かせいただければと思います。</p>
企画班長	<p>企画班長の千葉と申します。</p> <p>この件に関しましては、私の方からご報告させていただきます。</p> <p>これにつきましては、金成小中学校と民俗学の学芸員が綿密に打ち合わせを行った上で実施したもので、子供たちとの双方向で質問を受けてそれに答えるというのを、オンラインの繋がった上で実施することができました。</p> <p>先ほど副館長兼企画部長から、試行錯誤をしている段階で模索しているところとご説明したように、まだ十分確立はできていないのですが、今後のやり方の指針にはなるのかなというふうに捉えております。</p>
菊池委員	<p>双方向でできるのであればいいと思います。これからもご検討ください。</p>
議長	<p>6ページの講義で記載のあった高校を含めた学校はオンラインはしているんですね。</p>
副館長	<p>オンラインで行ったのは、この栗原市立金成小中学校だけです。</p>
議長	<p>そういうことですね、はいわかりました。</p>
鈴木委員	<p>「欲望の昭和」「みちのくのサムライたち」「キングダム」を拝見させていただきました。全部の年齢に絞って来てもらうというよりは、対象がコアなところでやっていく方がかえっていろんな人が来るのかなというのを、他の話の中でも聞いたことがあります。</p> <p>今回、キングダムを初めてみて、漫画は途中で挫折してしまいましたが、ダイジェストで見ることができて、こういう流れだったのかとわかって楽しく見させていただきました。</p> <p>それから、欲望の昭和ですが、テーマがその消費とくらしの豊かさとは何かということでしたので、展示の内容についても、その視点で興味深く見させていただきました。</p> <p>小学校の社会では、昔の道具について勉強するところがあるのですが、時期がずれていけば、学校団体で来ることもできたでしょうけれども、先ほどのお話で「家族で私たちの子供の頃は」というような語りをしながらというねらいなので、この時期で丁度よかったのかなと思います。</p> <p>私は登米市に住んでおり、漫画のところでは、石ノ森章太郎さんのこともクローズア</p>

<p>議 長</p>	<p>ップできないかなあとと思いながら拝見させていただきましたが、著作権問題など何かそういう縛りがあったのではと思いました。</p> <p>「みちのくのサムライたち」につきましては、日本史に疎い私も説明が詳しくあって、すごく興味深く拝見させていただきました。</p> <p>先ほどのお話で解説の工夫とありましたが、展示物が多いとやはり解説も多くなり、すごくヘビーで観覧し終わったあと本当に疲れるんですね。</p> <p>頑張っって読むので、場所によっては簡単な解説があったり、詳しく知りたい対象の皆さんにとっては、別紙の資料を用意するとかもあっていいかなと思いました。</p> <p>昨年オンラインはどうですかと、お聞きしたときに「なかなか難しいです」という話がありましたが、今回はその扉が開いたのかなと、お話をお伺いしておりました。ここに来て生で見るのも大事ですが、遠くからですと来られないこともございますので、ぜひその辺りを話し合いしながら、可能な範囲でオンライン授業も開いていただけるとありがたいと思いました。以上です。</p> <p>一言ですが、アンケートで肯定的な意見と否定的な意見というふうに表現しておりますが、改善を要望されたい意見とか、プラスに受け止められるような表現にした方がよいと思います。</p> <p>1時間経ちました。ここで休憩をとり、次の議題に入りたいと思います。</p> <p><休憩5分></p>
<p>議 長</p>	<p>それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>議事の2番目、令和5年度事業計画について報告をお願いします。</p>
<p>副館長</p>	<p>事業計画の説明に入る前に資料はございませんが、令和5年度に実施いたします、空調設備改修工事について、ご説明させていただきます。</p> <p>東北歴史博物館は、平成11年に開館して以来23年が経過しております。</p> <p>施設整備の老朽化が進み、平成26年に策定した施設の長寿命化年次計画に基づきまして、計画的に施設の改修等に努めて参りました。工事に当たりましては、県民の皆様が歴史文化に触れる機会を失われることがないように、今まではできる限り休館せず、通常業務と並行しての施工を前提としてまいったところがございます。</p> <p>令和5年度に実施する空調設備改修工事は、国宝重要文化財の公開承認施設として、展示室等の空調性能の維持を図るための、大規模な工事となります。</p> <p>工事に際しましては、大量の収蔵品の移動及び保管場所の確保が必要なことから、工事の発注者である県土木部と協議を重ね、特別展示室については10月から、総合展示室・映像展示室・テーマ展示室については12月から閉鎖します。工事が安全で円滑な推進が図られるよう、集中工事期間を設けることとしたところがございます。</p> <p>工事に当たりましては、来館者の安全を最大限考慮した上で、文化庁の指導監修に従い、所蔵文化財の保全が万全に図られるよう取り組んで参ります。</p> <p>なお、図書情報室、こども歴史館、今野家住宅は通常通りの予定でございます。また、体験教室、歴博講座、館長講座などの催事も通常通りの実施を予定しており、県民の皆様の学ぶ機会を確保してまいりたいと考えてございます。</p> <p>令和5年度の空調設備改修工事の説明は、以上でございます。</p>
<p>議 長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>来年度、特別展示が少ないというのは、そういう関係だということなんですね。</p>
<p>副館長</p>	<p>(説明の概要)</p> <p>【令和5年度事業計画】</p> <p>1 企画展示事業</p> <p>(1) 常設展示</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・総合展示室は、これまでどおりの継続展示。 ・テーマ展示は、3つの展示室で合計6テーマの展示を行う予定。 ・映像展示は、東北地方の祭りや民俗芸能、工芸技術の映像を上映。 ・今野家住宅は、四季折々の催事にあわせて飾り付けを変えながら展示公開。 <p>(2) 特別展示 特別展示は、空調設備改修工事の関係で令和5年度は春と夏の2回の展示を予定。 【悠久の絆 奈良・東北のみほとけ】展 令和5年4月15日から6月11日までの50日間開催予定。 東日本大震災から13回忌となる令和5年、鎮魂と祈りのために前回の災害からの復興を願う仏像の姿を伝えるとともに、みほとけたちが発する癒しの力を被災者に感じていただき、さらには、美術を通して奈良仏教の教えをわかりやすく伝える趣旨で、国宝重要文化財を含む仏像・絵画・書籍など195点を展示する予定。 関連行事は、記念講演を5回行うほか、ワークショップや展示解説を予定。目標観覧者数は8万人。</p> <p>【古墳をつくる人びと はにわ工人 ハジベ君】展 令和5年7月15日から9月24日までの62日間開催予定。 埴輪工人集団の1人を主人公とし、古墳築造に関わった人々を紹介します。 また、この築造について、一連のストーリーの中で、実物資料を交えながら紹介し、古墳時代をわかりやすく伝えて参ります。 関連行事といたしまして、展示解説及び古墳と埴輪のワークショップなどを予定。目標観覧者数は1万2千200人。</p> <p>2 教育普及事業 (1) 施設運営 図書情報室は配架図書の充実、DVD視聴の活性化を図る、今野家住宅は博物館ボランティアの協力を得て運営、こども歴史館はインタラクティブシアター「歴史と防災学びのシアター」により歴史的災害から学ぶ防災教育の活性化に取り組み、学校利用と個人の学習支援の強化を図り利用者増につなげる。</p> <p>(2) 催事運営 館長講座、れきはく講座、体験教室、多賀城跡巡り等1年を通じ催しを実施予定。</p> <p>3 調査研究事業 考古、民俗、歴史、美術工芸、建造物及び保存科学の6分野で、科学研究費や文化庁の国庫補助金を活用し、調査研究事業を実施予定。</p> <p>4 資料管理事業 令和4年度と同様に、資料の収集・保存・活用・修復に努めるとともに貸し出しや公開など利用促進に努める。また、北小松遺跡、多賀城跡出土の木製品及び金属製品80点の保存処理を行う。</p> <p>5 東日本大震災対応 (1) 被災文化財の保全活動 東日本大震災対応は、県内所在の被災文化財に対し、県文化財課と連携し、修理や保存に努める。</p>
議 長	<p>ありがとうございます。 ただいまの事業計画について、ご発言がございましたらお願いいたします。</p>
議 長	<p>みほとけ展は、達成目標は8万人ということなんですが、仏様の展示だと、相当の来館者がいらっしやると思うんですけど、特に奈良の仏様が来館者の年齢層の問題もあるかもしれないですが、どうしてみんな仏様にこんなに引きつけられるんでしょうね。</p>

副館長兼 企画部長	<p>当館でもこれまでも、何年かおきに仏像・彫刻の展示をやらせていただきまして、非常に人気があるといえますか、非常に好評をいただいているものがあります。</p> <p>なぜっていうのは私もわかりませんが、今回も特に唐招提寺、法隆寺、西大寺さんのご協力をたくさん賜りまして、あと東北地方では、勝常寺の国宝・重要文化財も含めまして、仏像・彫刻・絵画・書籍等を取りそろえた展示になりますので、かなりのお客さんに喜んでいただけるかなというふうな感じはしております。</p> <p>ただ、やはりコロナ禍の情勢でいろいろ動きがちょっと読めない部分もありますけれども、準備の方は進めております。以上です。</p>
議 長	空調工事の関係で特別展2回という事ですが、よろしいですか。
今野委員	工事は特別展示室の方も令和6年の3月までですか。
副館長兼 企画部長	<p>工事の終りは来年度中いっぱいという形になります。</p> <p>今、説明でもありましたように収蔵庫の空調の工事も入ります。収蔵庫にある資料をどこかに動かさなければならぬ。収蔵庫に資料があるままでは工事ができないので、その移動先を考えて、一番大きな広い空間がある場所はどこかという、空調もあり、ガラスケースもあり、安全な部屋として特別展示室が考えられ、そのような理由で3月31日までの予定で考えております。</p>
今野委員	仙台市博物館や県美術館など、県内の大きな展示施設が同じ時期に休館することは、それぞれの事情があるにしても、とても厳しいなと感じております。
柳原委員	「悠久の絆 奈良仏教」というのはどういうものですか。奈良の地域の仏教という事ですか。
副館長兼 企画部長	大乘仏教の教えというのをテーマに考えており、奈良の地域で展開しようという事です。
柳原委員	奈良時代の仏教と思ってしまったのですが、奈良の地域の仏教という捉えですね。
議 長	<p>はい、よろしいでしょうか。</p> <p>議事3 東北歴史博物館中長期目標に係る令和4年度及び後期5ヶ年自己評価について、事務局より説明願います。</p>
管理部長	<p>(説明の概要)</p> <p>【東北歴史博物館中長期目標令和4年度自己評価(12月末現在)】</p> <p>○取り組みの概要について</p> <p>I 目的</p> <p>当館では、開館以来の博物館を取り巻く環境の変化や東日本大震災への対応という課題に取り組むため、平成25年度からの5年間を中長期目標の前期、平成30年度からの5年間を中長期目標の後期と位置づけ、より魅力的な博物館を目指して取組を進めている。</p> <p>II 取り組み項目</p> <p>「1常設展示・企画展示」から「9東日本大震災対応」まで9つの項目を設定し、これらの項目の下に16の活動方針と31の達成目標を設定して取り組んでいる。</p> <p>重点目標として、「“み”たい博物館情報の創造(はくぶつかん情報創造プロジェクト)」と「東日本大震災対応」の2つを柱に据え、関連する個別の達成目標を重点事業に位置づけ、人々を魅了し「“み”たい」をくすぐる博物館活動を創造することを目指す。</p>

Ⅲ 評価概要

評価の方法は、「4 十分達成」「3 ほぼ達成」「2 やや不十分」「1 不十分」の4段階を評価基準とし、全職員で評価を行った。その後、中長期目標達成推進委員会（館長、副館長、部長、班長で構成）で、全職員の評価結果を基に館としての評価を決定し意見を付してまとめたところ、総合評価では「ほぼ達成」、個別評価では「十分達成されている」が6つの目標で、「やや不十分である」が1つの目標で、その他24の目標で「ほぼ達成」という結果となった。

○31の達成目標に対し、それぞれ実績と評価結果、そして推進委員会の意見を記載している。次に後期達成目標の実現に向け、実績の欄に12月末時点での取り組み実績を記載。これらの実績に対する評価の欄は、推進委員会でまとめた自己評価及び意見を右側に記載している。

○個別の達成目標（抜粋）についての説明は、評価4「十分達成」と評価2「やや不十分」を説明する。

- ・ 「達成目標 No③」『魅力的な展示の実施』と「No④」『外部の巡回展を積極的に誘致し、幅広い利用者の来館推進』については、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながらの展示開催となる中、切り口の異なる四つの特別展を開催し、幅広い世代の来館とアンケートの満足度が高かったことなどを「4 十分達成されている」と評価した。
- ・ 「達成目標 No⑤」『各種講座・教室や体験イベントの開催に際し、利用者ニーズや興味関心をつかみ質的向上を図る』の目標では、同じくコロナ禍の中で、参加者の満足度の向上のため、新たなプログラム開発や申し込み方法の改善等を「4 十分達成されている」と評価した。
- ・ 「達成目標 No⑬」『わかりやすいアクセス情報の提供』と「達成目標 No⑯」『来館者の増加につながる効率的な広報展開』と「達成目標 No⑳」『大学等学校単位での利用を促進』これらは情報端末機器の普及に合わせて情報発信を工夫改善し、電話等での問い合わせが減少したことやSNSの活用による当館の認知度が向上に繋がった点を「4 十分達成されている」と評価した。
- ・ 「達成目標 No㉓」『大学等学校単位での利用を促進』大学等へのセールス活動により、新たに2校がキャンパスメンバーズに加盟したことを「4 十分達成されている」と評価した。
- ・ 「達成目標 No⑮」『館のロゴを制定し、館のシンボルとして活用』の目標では、評価を集約している12月末段階での取り組みが停滞していたことから、同じくコロナ禍の中で、参加者の満足度の向上のため、新たなプログラムの開発や申し込み方法の改善等を「2 やや不十分である」と評価した。これを発奮材料として、本日配布の不織布バッグやのぼり旗作成など、担当が奮起していることから、年度末では評価を上げる可能性もある。
- ・ これ以外の項目については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、それぞれの達成目標に向けて、事業は着実かつ円滑に進んでいるとし、評価は「3 ほぼ達成」されていると評価した。
- ・ 総合評価は、「3 ほぼ達成」ということであります。

【東北歴史博物館中長期目標後期自己評価（12月末現在）】

○取り組みの概要について

I 目的・・・令和4年度に同じ

II 取り組み項目・・・令和4年度に同じ

Ⅲ 評価概要

評価の方法は、後期5ヵ年の31の達成目標に対する4段階の評価の平均値を、小数点以下1桁とし、これを総括評価とした。資料4の1ページに総括評価一覧があります。うち低評価はナンバー①の2.2から高評価はナンバー④の3.8までとなっている。そのうち3.0以上が31項目中29項目あり、全体を通した総合評価は3.0で、各分野で設定した目標に対して「ほぼ達成」されていると評価した。

	<p>令和2年2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部休止等あったものの、概ね達成目標に対する個別取り組みは、職員のみならず関係者の理解と協力と、対策・工夫を凝らしながら実施できたことも評価しております。</p> <p>31の達成目標の一つ一つについて、担当のコメント、実績を記載しております。後期総括として推進委員会意見を記載しております。説明は割愛させていただきますが、後程ご覧ください。</p> <p>平成25年から29年の5カ年の前期並びに、今回お示ししております後期、平成30年から令和4年度までの5カ年、通算10年間を通じて成果が上がらなかったものについては、課題を検討し、継続して取り組み、成果が上がったものでも維持向上に繋がるよう視点を変え、新たな課題として取り組むなど、令和5年度からの新たな指標となる「第2期東北歴史博物館中長期目標前期」で取り組んで参りたいと考えている。</p> <p>以上、令和4年度並びに後期5カ年の自己評価について、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。</p>
議長	<p>全体を通じて、いかがでしょうか。</p> <p>これは自己評価ということでもありますけれども、もう我々外から見たときに、その自己評価が妥当かどうかも含めて、ご意見があればお願いしたいと思います。</p>
議長	<p>令和4年度自己評価 達成ナンバー⑩ですね。</p> <p>来館者の増加に繋がるような広報で、一番右側のところですが、ツイッターのフォロワーの数が大きく増加したということですけど、これは共催団体が作ったツイッターという事でしょうか。</p>
管理部長	<p>これは当館のアカウントのツイッターで、昨年4月時点では900人であったものが、12月末時点で2,000人を超えているという事です。今回のキングダム展も企画元である集英社からツイッターの監修なども入っており、SNSでの発信が重要視されており、キングダム展が終わってもこの数値を維持できるよう工夫をしていきたいと考えています。</p>
議長	<p>このフォロワーは自動的に続いていくわけではないのですか。</p>
情報サービス班長	<p>フォロワーは興味がある場合にそのアカウントを登録することで、優先的に情報が発信されるという事なので、相手次第で興味がなくなれば登録を外されることもあります。通常であれば、このまま情報発信ができるので、フォロワーを引き留められるように積極的に発信を続けてまいります。</p>
議長	<p>900が2,000になるというのは、これ相当効果は大きいですよ。このまま2,000だったらツイッターを受け取ってくれる人が、どんどん増えていくと考えることもできますね。さらに上積みされることに。</p>
管理部長	<p>興味・関心のある情報を発信することによって続いていくということです。</p>
議長	<p>是非、頑張ってくださいと思います。他にいかがでしょうか、よろしいですか。では、議事4の第2期東北歴史博物館中長期目標前期について説明をお願いします。</p>
管理部長	<p>(説明の概要)</p> <p>I 目的 第1期中長期目標の自己評価のとおり、成果が上がったものの維持向上に合わなかったものについては視点を変え、新たな課題として取り組む必要があることや、博物館法の一部改正、激甚化する自然災害、新型コロナウイルス感染症の蔓延など、博物館に求められる新たな社会的課題に取り組むため、第2期東北歴史博物館中</p>

	<p>長期目標を策定し、より魅力的で親しまれる博物館を目指して取り組んでいく。</p> <p>II 計画期間（長期としては10年、前期・後期で各5ヶ年） 中長期目標（前期）＝ 令和5年度から令和9年度までの5年間 中長期目標（後期）＝ 令和10年度から令和14年度までの5年間</p> <p>III 構成（18ページ三つ折り参照） 重点目標は2つ、項目を8つ掲げ、前期（令和5年度～令和9年度）では14の活動方針と28の達成目標を設定、第1期では9の東日本大震災という項目を、8つの危機管理というように整理させていただきました。</p> <p>IV 重点目標 昨今の異常気象をはじめとする様々な災害が新型コロナウイルスによる行動制限に加えて、大国による軍事進攻とその影響など、必ずしも平和とはいえない状況下において、地域社会の中で当館に求められる役割を東日本大震災での経験を踏まえ、当館が果たすべき社会的役割が社会の多少の変化にかかわらず、基本的に変わることのない一貫性を重視し、できる限り休館することなく通常の運営を継続して、人々の知への探究心を実現し暮らしにプラスとなる。すなわち、日々の暮らしに心のゆとりをもたらしていく博物館であること。また、運営を通じて、人々と繋がり、地域貢献、重点目標として「暮らしを潤す博物館」（豊かな心プロジェクト）と命名させていただいております。これが一つと「学び、繋がり、地域に貢献する博物館」の二つを第2期の重点目標として設定しました。</p> <p>V 長期活動方針 1の常設展示、特別展示から8の危機管理までの8つの項目を長期活動方針として設定。</p> <p>VI 前期 活動方針・達成目標 8つの項目と14の活動方針、28の達成目標について、今後5カ年間の目標達成に向けた取り組み内容等に記載している。</p> <p>VII 目標達成のための個別取組 28の達成目標の実現のため、目標達成に向けた取り組みの内容等については、県の財政事情や社会情勢等に大きく左右されることから、毎年度、目標達成のための個別取り組みを策定。（19ページ参照） 「目標達成のための個別取組」は年度末の自己評価、顕在化した優先的課題により、適宜見直しを行い、より時勢に即した内容として「達成目標」の実現に努めます。この部分は毎年度変わっていくと捉えております。</p> <p>VIII 検証等 第二期の令和9年度までの5年間の前期として総括を行い、令和10年度以降の後期目標策定の際に見直しを進めていきます。毎年度目標達成のための個別取り組みの自己評価を実施し、本計画の進捗状況を常に把握し、PDCAサイクルの考えに基づき、的確な進行管理を行い、その評価結果については、本協議会に報告し、ご意見をいただくとともにホームページ等を通じて公表して参りたいと考えております。 なお、本計画は今後の県の財政や組織再編、社会情勢など大きな変化が生じたときには、この計画期間中でも、必要に応じて見直しを進めていくこととしております。 以上、第二期中長期目標前期について、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。</p> <p>議長 中長期目標についてご説明がございました。 従来の今年度までの第1期、それから10年間の新しい期間の目標を設定したということでございます。これにつきましてはどうでしょうか。</p> <p>菊池委員 新しい目標に入っていくということですが、民俗の関係で物の展示はされているのでしようけれども、「舞」や「神楽」などについてはどのようになっていますか。 ビデオで流れているものもあるのですが、実際に人が踊ったりしている無形文化財というのですか、ちょっと興味のあるところだったので、どうなのかなと思いました。</p>
--	---

学芸部長	<p>主に民俗分野の映像で残す資料ですが、民俗担当の学芸員が、先日も旧宮崎町から「かせどり」、そういったものを映像で記録するよう調査研究を行っております。</p> <p>それを展示にどう活かしていくか、例えば映像となるとそのための施設とか、人も必要になりますので、そこを活かすために検討ということですが、今は、それに備えて資料の方の蓄積を随時行っている状況です。</p>
菊池委員	<p>地域で私たちが全然知らなくて、日の当たらないところで頑張っている、そういう地域の祭りとか結構あることを実感したものですから、研究をしていただくといいかなと思いました。</p>
学芸部長	<p>実施してまいります。</p>
議長	<p>ありがとうございます。御神楽とか剣舞とかですね。震災復興の過程でも、人々の絆になるとか、よりどころになるという非常に大きな役割を果たしているということが、非常にはっきりと出てきたんだろーと思います。それは博物館としても、これまでも取り組んでおられましたけれども、より一層お願いしたいと思います。他にいかがでしょうか。</p>
柳原委員	<p>第1期の9番、東日本大震災の項目が第2期では8の危機管理に衣替えをされたというご説明だったと思います。この危機管理のところを拝見しますと、非常時に館としての機能をどう維持していくか。館の資料をどう守るか。という内向きな計画目標になっているかと思えます。それに対して東日本大震災のところは、外に出て行って、例えば県内の文化財レスキュー活動をリードするとか、そういう観点が入っており、ちょっと衣替えというより、かなり変わってしまったかと。災害というのは、東日本大震災、それ以後も頻繁に起こっているわけで、被災文化財の保全活動というのは、やはりどこかに入れていただいた方がよろしいのではないかと思います、いかがでしょうか。</p>
副館長兼 企画部長	<p>危機管理は大きな意味で震災、地震津波のみならず、土砂災害・大雨とかいろいろな意味で、今、自然災害が各地で起こり、それに伴って文化財のいろんな損害が生じているということもあり、東日本大震災で我々が蓄積したものを基にしながら、いろいろな危機に関して、対応できるような体制を作っていこうということになります。</p> <p>県文化財課の方が各市町村とか、文化財に近いところにいらっしゃる所有者さん、市町の教育委員会が、まずそれを把握して、県の文化財課と当館が連携しながら様々なサポート、保存科学や民俗の問題とか、歴史の古文書・彫刻・絵画、そういった知見は私もは持っていますので、県の文化財課と連携を取りながら市町村の文化財担当者や、たくさんの文化財をお持ちになってる皆様方と連携する体制は作ってあります。</p>
柳原委員	<p>県の文化財課と役割分担を明確にして連携し、被災文化財の保全とかはできるような体制は取っているというご説明でしょうか。何かやはり、これだけ見ると撤退してしまうような印象を受けますよね。</p>
議長	<p>今のようにお話をされたことが、手短でもいいので災害があった時の保全であるとか、そのようなことにも取り組みますということが入っていると、多分わかりやすいのでは。実際、それをなせる体制があるので、見える化していただいた方が、いいのではないかなと思います。これはもう変えられない話じゃないですよ。</p>
管理部長	<p>はい、また検討させていただいて、来年の当初には、公表したいというふうに考えています。皆様からのご意見をいただいて見直してまいります。</p>

議 長	柳原委員の意見は非常に大事だと思います。もうすでにやっておられるし、これからもやらなきゃいけない。明記されるといいんじゃないかなと思います。他にいかがでしょうか。
近江委員	デジタルアーカイブ、かなりの数ができていると思うのですが。館内での公開とインターネットを通じての情報公開はあるんですか。例えば、学校等に貸し出しなんかはしていただけないのか。そういう要望はないんですか。学校の現場でお借りし、ビデオだったり、双方向の授業で使えると思うんですけど。例えば大学でも高校でも、そういうところで貴重な資料だと思いますので、ゼミや授業の資料としてお借りできないのかなというところでは。
議 長	データの公開の仕方ですね。
管理部長	実際どこまで出せるかということ。後世へ残すという部分もありますが、記載としては、実物資料はもとより、画像等の二次利用を含めた博物館資料等に適切に対応するところと、もう一つは⑫のデジタルアーカイブをさらに充実させて、インターネットなどを活用して情報公開を推進しますというようなところで、ニーズをつかみながら対応していくという事です。
議 長	そういう地域からの要望を受け、実施するようお願いします。
堀内委員	今のお話しに関連してなんですが、学校でもやはりそういう貸出のものが一覧とすると非常に活用しやすいです。昔、仙台市博物館でそういう一覧を見たことがあった気がするんですけども。実際借りたことはなかったんですが、そういうのがあると、学校の教員が授業の中で活用していこうと思うので、是非、リストアップしていただくとありがたいと思います
議 長	今のリストの話題になりましたら、私もちょっと一言、申し上げておきたいと思います。 これは中長期目標に具体的にどう盛り込むかは、また別の問題ですけども、情報発信の仕方ということで、歴博のホームページにアクセスをして、歴博はどんな資料を持っているのか知りたいと思い、アクセスしたのですが、単語を打ち込まないと何があるか出てこないし、カテゴリごとに分けられてはいるのですが、見たいと思ったときに、ものすごく不便。検索機能をよくわかっている人は多分できるのですが、数日前にアクセスしたら、全然わかりませんでした。どこをクリックすればどこに行き着くのか構造が悪い。 作り直すのはお金がかかるとは思いますが、業者にやってもらい、作り直した方がいいと思います。何とか10数回クリックを繰り返して、会議資料などに行き着いた後は、目録とかに当たったりしたんですけども。目録も1年ごとのブロックなので、一括されていないんですね。だからその何々系にどんな資料があるのかということを見ようとするときには、すぐにはわからない。これは本当に使い勝手の悪い検索機能だと思います。 海外資料もあって、これもようやく行き着いたんですよ。すぐには行き着かない構造になっているんですが、行き着いてみたときに、もうデータが小さすぎて輪郭はわかるんですけど、書かれている文字とか地名とかいろんなことなどは全然読めない。参考資料にならない。 他のところではもうちょっと大きなデータで、それなりに細部が見られるようなデータをアップしているところが多いと思うんですが。これでは、アップはしているけど、使えないという状態になっていると思います。これは是非、お金をかけてでも直していただいた方が良いでしょう。そうじゃないとアクセスは増えないでしょう。 あれでは、何があるかわからないから、何を借りたいかもわからない。ちょっと悪循

<p>管理部長</p>	<p>環になっていると思いますので、ぜひ次年度以降の予算の中で、改善に取り組んでいただきたいと思います。そうすると、この中期目標に書いてあるような、情報発信は非常に効果的に回るようになるんじゃないかなというふうに思います。ぜひ、よろしく願います。</p> <p>それとパネル展とか常設展で、テーマごとに蓄積されているんですかね。PDFか何かで。何年度には、どんな常設展や企画展をやったということが蓄積されていくと、過去にはこんな展示をやっていたんだということが参考資料になるんですね。</p> <p>せっかく展示会をやっているのだから、それを何らかの形で情報として残して、館の中にアップしたらどうでしょうか。</p> <p>館のホームページ自体はもう非常に豊かに、バラエティに富んだものになっているのではないかと思いますので、せっかくまとめて作った種々なデータは、有効に活用された方がいいし、展示だけでおしまいと引っ込めちゃうとちょっともったいなさすぎると思います。</p> <p>ちなみに取り組みのところで、情報システム関係でございまして、令和6年度以降に情報システムの更新を予定しております、来年度はそういったものをシステムに、予算も絡むところなので、どこまでというところはありますが、今のご意見等を参考にしながら、より良いシステム改修を図っていきたく思いますので、貴重なご意見ありがとうございました。</p>
<p>堀内委員</p>	<p>ホームページに小学生向けの学習シート等があったと思いました。いくつかのパターンがあり、教師用のもあって、小学校向けに充実した内容をそろえていただいております、小学校の先生は非常に使いやすいだろうなあと見ていただきました。</p> <p>中学生用はないのかなと思って、ちょっと検察し見させていただきました。資料の13ページに、多賀城創建1300年記念事業に向けてといった内容も書かれてあり、もうどんどん復元とかもあり、非常に地域住民も盛り上がっているところですので、是非、中学校でも授業をしながら、実際に博物館に行つてごらんというふうにつなげられるように仕掛けることが可能です。</p> <p>それとタイアップして、より効果的になるような、何か学習シートの事業プランみたいな提案があると、さらにありがたいと思ったところでした。以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは、中長期目標については以上ということにいたします。</p> <p>では、本日予定しました議事については以上でございます。事務局よろしく願います。</p>
<p>総括次長</p>	<p>平川会長、堀内副会長ありがとうございました。</p> <p>議題5、その他でございますが、特に事務局からはございませんが、各委員の皆様から何かございますか。</p> <p>閉会にあたりまして、東北歴史博物館館長 阿子島香が挨拶を申し上げます。</p>
<p>館長</p>	<p>委員の皆様方には、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。新型コロナウイルス感染状況につきましては、いまだ予断を許さない状況ではございますが、日々、感染予防対策を講じながら安心して御観覧いただけるよう努力して参ります。</p> <p>今後、多くの皆様方に御来館いただけますよう、本日、委員の皆様から頂戴致しました貴重な御意見を踏まえ、今後の博物館運営に十分に活かしながら、また、4月の新年度からは「第2期東北歴史博物館中長期目標」がスタートいたしますので、各々の目標が達成できますように、博物館ができることは何かを考え、魅力的な博物館を目指して、職員一同、一丸となり、より一層努力してまいります所存でございます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>

総括次長	以上をもちまして、令和4年度東北歴史博物館協議会を終了いたします。 本日は大変ありがとうございました。
------	--